

2022年3月4日

【抗議声明】

社会福祉法人 ゆうえい会
理事長 久住 一男
夕映えの会
会長 小川マキ

ロシアは、民族自決権を蹂躪するウクライナ侵略をただちに停止すること。
プーチン氏による、核兵器による威嚇発言は撤回すること。

唯一の被爆国である日本は、残虐・非道な兵器の使用は認めない！

ロシアの軍事侵攻については、21世紀の現在にあって、国際秩序・国際平和・諸国民の平和と安全に照らして、みじんも道理がないことは明白です。いかなる理由があっても、国境を越えた他国への一方的な侵攻は、侵略以外の何物でもありません。

世界が今回のロシアのウクライナへの傍若無人な振る舞いを容認するようなことがあれば、21世紀の世界の平和と安全の枠組みは大きく変わり、大国の横暴がまかり通ることになります。

一方で核保有国のサボタージュにもかかわらず、非保有国のイニシアチブで人類初の核兵器禁止条約が2021年1月発効し、世界各国で批准の動きがすすんでいます。核兵器は国際人道法に反する残虐兵器であり、その開発・製造・備蓄・保有による威嚇を禁じています。

プーチン氏は「ロシアは世界で最も強力な核保有国の一つ」であり、「ロシアを攻撃すれば壊滅的な結果をもたらす」と述べて、核兵器の使用を公然と表明しました。1945年8月のヒロシマ・ナガサキから2022年までの、核兵器廃絶の努力を葬り去るかのような妄言であり、断じて容認できません。

ロシアによる一方的なウクライナへの軍事進攻が激しさを増している中、世界の関心は「どうしたら戦争を止められるか」の一点に集まっています。

私たちは「ロシア・ベラルーシへの断固とした制裁」への賛意とともに、平和でこそ成り立つ高齢介護施設とその共同組織として、あらためて「侵略戦争反対」「ロシアはウクライナからただちに手を引け」と満身の怒りを込めて抗議します。